



“学びの森”だより

やり続けるということ



ほんのひと月前までは、勢いよく枝葉を茂らせていたメタセコイヤの木々が、オレンジ色から深い茶色へと姿を変え、徐々に枝を落とし始めています。凜と立つ木立が冬の到来を告げているようです。春の終わりに意を決し、半ば意地になって続けてきたウォーキングがもたらしてくれた、ご褒美のような美しい景色です。

「半ば意地になって」と書きながら、これまでの教師人生の中で、意地になって続けてきたことが、いろいろと浮かんできました。一つ目は、学級通信です。「話せば、3分で終わることを、何時間かけて、あんたは書いているんだ」。隣の席で、学級通信を覗いていた先輩教員に言われたことがありました。思ってもみなかった言葉でした。誰かに言われて書き始めたわけではなく、自分で書くと決め、発行していたお便りでしたが、やめるという選択肢はありませんでした。自分への意地だったのでしょうか。ただ、B4判1枚の学級通信が、担任の思いを伝える手段になったり、生徒同士の思いの共有の場になったり、保護者と教室を繋ぐメッセージになったりと、費やした時間の長さに見合ったかどうかはわかりませんが、手ごたえはあったような気がするのです。

もう一つは、黒板へのメッセージです。始めた理由は、単純です。時間のないことを言い訳に、部活動終了後、教室に足を運ばずに帰宅する日々が続いていた、そんな自分への戒めからでした。朝の会が終わり、1時間目の授業の前には、必ず消されてしまう言葉に、届けたい思いを託していた毎日を懐かしく思い出しました。



「不断に続く平凡は非凡だ」

「継続は力なり」。そう言えるもう一つの実践が、以前、学びの森に勤務されていた小澤先生の教員時代の日常の中にありました。先生は、教材研修を積み重ね、指導案を書き続けて、毎回、授業に臨まれていたのです。かつて、高く積み上げられた指導案が書かれたノートの山を見せていただいたことがありましたが、それが、先生の実践のほんの一部にしか過ぎないことを知り、果てしない努力の形跡を見た気がしました。

指導案の必要性について、昨今、様々な見解があるのは確かなようです。今年度の初め、学びの森では、「授業の物語（ストーリー）※裏面参照を一緒につくっていきましょう」とお伝えしました。どんな形であれ、授業をつくっていくためには、単元全体をとおしたストーリーを、まず教師自身が考えることから始めていく必要があると思うのですが、いかがでしょう。

各種研修会から学ぶ

秋の深まりに合わせ、先生方の研修も実りを迎えた11月でした。幼稚園での参観を通して、幼・小・中一貫教育についての理解を深め、子供の成長を考えることを目的とした2年次研修を皮切りに、同期の先生の授業を互いに見合い、それぞれの抱える課題を考え合った初任者研修と続き、若手の先生方の思いを確認できた日々でした。ここで、研修を終えた先生方の感想を載せてみます。

・中学校の授業では、小学校とのスピード感の違いを感じました。ONとOFFの切り替えが早く、学習に向かっていく姿が素晴らしいと思いました。また、授業の中で先生方が、「小学校では」ということをたくさん話されていました。小学校の話を出すことで、子供たちから「あー」という声が出ていたので、小学校の学びが中学校に生かされているんだとわかりました。中学とのつながりをもっと意識して、授業づくりをしていくこと、そして、低学年では、すべての土台を学んでいる時期なので、基礎固めをしっかりしていきたいと思いました。(2年次研修参加者)

・今日の研修を通して、子供たちをどのように主体的に学ばせるか、ヒントを得たような気がします。主体的に学ばせるためには、教師側の発問や授業の見通しなど、考えなければいけないことが多々あると思います。子供たちに身に付けさせなければいけない能力などは、あると思いますが、教師が、ただ、めあてに向かって教え込むのではなく、子供の疑問も取り入れながら授業を進めていきたいと思いました。(略)(初任者研修参加者)



中学校授業づくり研修からのお知らせ

中学校国語科では、今年度2回、小説教材「走れメロス」と「それだけでいい」という詩の授業を公開してきました。授業の様子は、00共有教材→中学校→01国語→授業づくり研→R5で見ることができます。小学校の先生方にも参考となる授業になっていると思います。ご覧ください。

ちょっと一息 コーヒーブレイク

読書の秋は過ぎてしまったけれど、冬の夜ならではの、ほっとしたひと時のお供に、青山美智子氏の書籍はいかがでしょう。おしゃれな装丁に惹かれ、手に取ったのが彼女のデビュー作、「木曜日にはココアを」でした。読み進めていくと、人と人がどこかで繋がっていたり、気付かないうちに誰かが誰かを支えていたり…、ほっこりと優しい気持ちになれるストーリーの数々です。ほかにも、「月曜日の抹茶カフェ」「お探し物は図書室まで」「月の立つ林で」、本屋大賞2位に輝いた「赤と青のエスキース」などなど、どれもが癒されるお話ばかりです。よかったら、お貸しします。



学びの森にちょっと寄ってみませんか。

(文責：学びの森指導員 照井久美子)

表面で紹介した、「学びの森リーフレット」※はHPからご覧いただけます。

学びの森HP (<https://www.10schoolweb.ne.jp/weblog/data/2240002>)

☆配布文書→その他→学びの森リーフレット「授業の物語」

編集・発行：“学びの森”

〒410-1102 裾野市深良 435 番地

TEL：055-995-4903

FAX：055-995-4904